



おおやま

発行・編集:平成28年12月22日発行 北海道紋別養護学校PTA広報部

『二学期を終えるにあたり』

早いものでもう二学期も終わり、冬休みに入ろうとしています。二学期が一番長いのですが、宿泊研修や見学旅行、そして学校祭と子どもたちには初めての経験だったり、いつもと違った日課で過ごす事が多くなり、自宅での様子が落ち着かない子どもたちもいたのかなぁと思います。

私自身もひかるが初めての宿泊研修だったので「寝てくれるかな?とにかく体調を崩すことなく帰ってきてくれますように」と落ち着かない日々を送りました。こう思っていたのは多分私だけではないと思います。

研修や学校祭というイベントを終え、各学部の子どもたちはそれぞれ皆「ちょっと大人になったよね」という感じがあり、「子どもって面白いなぁ」と感心したりしています。

残るは短い三学期です。皆で楽しい思い出を作ってほしいと思います。

平成28年度 PTA 副会長



袴田 真美 さん

『やってみせて、言って聞かせて、やらせてみて、ほめてやらねば人は動かじ』

連合艦隊司令長官、山本五十六（やまもと いそろく）の名言です。戦争の話をしようにいうのではありません。つい、口で言ったことで指導したつもりになり「言うことを聞かない」となげくことはありませんか?世の中そんなに素直な人ばかりではありません。自分が子どもの頃はどようだったでしょう。

「**やってみせて**」・・・親が楽しそうなバラエティ番組を見ながら子どもに「勉強しなさい」と言っても効き目はないかもしれません。まず親がテレビを消して、本を読むなどしてはいかがでしょう。子どもは親の背中を見て育ちます。

実は、この名言には続きがあります。「**話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらねば、人は育たず**」

せっかく子どもが食器を洗ってくれたのに「汚れが残ってる」「あちこち水がはねている」などと細かいことを注意すると子どもはやる気をなくしてしまいます。尾木ママ（尾木直樹 教育評論家）が「お手伝いさせる目的は、親が助かるからではなく、家事を自らする気持ちを育てるためと心得るべし」と言っています。クオリティは次の段階!どうしても汚れが許せないのであれば、後でこっそり親がやり直しておけばよいのです。

さらに名言は続きます。「**やっている、姿を感謝で見守って、信頼せねば、人は実らず**」

ガミガミ言われるからやるのでは、言う人がいなくなると途端にやらなくなります。感謝され、役に立っていると感じれば、子どもは自ら「もっと上手になりたい」と思うものです。

山本五十六には別の名言があります。 “「いまの若い者は」などと、口はばたきことを申すまじ”

実年者は、今時の若い者などということを絶対に言うな。なぜなら、われわれ実年者が若かったときに同じことを言われたはずだ。「今時の若者は全くしょうがない、年長者に対して礼儀を知らぬ、道で会っても挨拶しない、いったい日本はどうなるのだ」などと言われたものだ。その若者がこうして年を取ったまでだ。だから、実年者は若者が何をしたか、などと言うな。何ができるか、とその可能性を発見してやってくれ。 私の座右の銘をご紹介しました。

北海道紋別養護学校 校長



久保 了乙

はじめての学校祭を終えて・・・

今年度本校に入学した児童・生徒の保護者や本人に感想を伺いました。

「初めての学校祭」

小学部 1年 保護者 増子 真理江

息子の初めての学校祭でした。当日は両親と離れるまで時間がかかり、大丈夫かなあと少し心配していました。

オープニングセレモニーでは、先輩達の挨拶に感心し見ていました。息子は、お気に入りのイヤーマフをして、キーボードを弾くことができました。「スゴイッ！」と思って見ていると、シャッターチャンスを見逃してしまいました・・・。

次に、ハメハメハオリンピックが開催されました。息子は競技中に、客席の祖父母を見つけ、ステージから走り出してしまいました。ステージ上の先輩達が必死に手招きしているにも気付かず、息子は嬉しそうな顔をしていました。先輩ごめんなさい。

中学部、高等部の学習発表は、感心することがたくさんありました。

生徒の皆さん、学校祭を楽しませてくれてありがとうございます。来年も楽しみです。先生方のご指導ありがとうございました。

「初めての学校祭」

中学部 1年 木村 鈴

学校祭では、ステージ発表で「たいこ」と歌を発表しました。その後に、縁日の受付の仕事をしました。最後に、現場実習の報告をしました。

特に、縁日の受付でチケットを2枚ずつ渡すところを頑張りました。

学校祭の練習では、歌「上を向いて歩こう」の手話が大変でした。

初めての学校祭は、楽しかったです。

「学校祭を振り返って」

高等部 1年生 保護者 一條 美奈子

本校での初めての学校祭で、無事にやりきることができるのかがとても心配でしたが、とても楽しそうにピアノを演奏したり、役を演じている姿を見ることができたのが、とても嬉しかったです。

与えられた役割も無事にやりきることができたことが、自分たちの自信になったのか、とても嬉しそうに話してきました。

この自信が次に繋がっていけばいいなと思っています。

学校祭特集



11月5日(土)に学校祭がありました。

各学部の児童生徒の活動の様子をご紹介します。

今年度のテーマは「友達の“わ”」でした。

日々の学習内容を体育館ステージで発表したり、縁日での接客や現場実習の報告、1学期から継続して行っている作業学習で作成した製品販売などを通じて、たくさんの地域の方々と触れ合うことができました！

〈学校祭テーマ〉

～友達の“わ”～

児童生徒役員会 オープニング テーマ発表



児童生徒役員会 フィナーレ



小学部ステージ発表

テーマは、「ハメハメハオリンピック」

日常の学習の様子を発表しました。



中学部ステージ発表

ピアノと木琴、和太鼓の演奏や、手話付きの歌を披露しました。



高等部ステージ発表

普段、授業で行っている作業学習の様子を実演して、披露しました。



中学部棟発表

中学部棟で「レインボー縁日」を開催しました！

前半は、ボール投げや空気砲のゲームができる店を出店し、多くのお客様にご来店いただきました。

また、後半は現場実習の報告会をしました。



高等部棟発表

高等部ホールでは、バザー「とっかり工房」がOPEN！
日常の作業学習で作製した『香り袋』や『はがき』などの製品販売を行いました。また、体験コーナーとして紙工の紙作りの工程をお客さんと一緒に行いました。



宿泊を伴う学習の様子

～宿泊研修・見学旅行～

小学部 5・6年生 ・ ・ 旭川方面(9/8～9)

中学部 2・3年生 ・ ・ 札幌方面(7/2～3)

高等部 1・2年生 ・ ・ 旭川方面(9/29～30)

高等部 3年生 ・ ・ 東京方面(10/11～15)

◎各学部の宿泊を伴う学習の様子を担当の先生に聞きました！

小学部5・6年生

「見学旅行の思い出」

9月8日（木）から9日（金）の1泊2日で旭川へ見学旅行に行ってきました。

3時間の長いバス移動をした後、旭川駅前のホテルでランチバイキングを体験し、旭山動物園へ。事前学習で作成した動物園マップを見ながらスタンプラリーを行い、ホッキョクグマやペンギン、アヒルやかばを見て、大喜びの4人でした。その中で自分のお気に入りの動物を見つけ、その場を離れず、ずっと見つめている子ども達の目はとても輝いていました。

夜は花神楽に宿泊し、食事や入浴、着替えなどの基本的な生活習慣に自ら取り組む4人の姿を見て、日々の成長を感じ取ることができました。2日目は、イオンモール旭川駅前で買い物学習をしました。文房具やパズルを買ったり、ゲームを楽しんだりしました。紋別に着いたとき、4人の顔つきは出発前に比べて少し大人になったように感じました。この見学旅行の経験を、これからの生活や学習に生かしてほしいと思います。

文責：本庄谷



中学部2・3年生

「見学旅行の思い出」

7月6日～8日の日程で見学旅行に行きました。旭川までバスで向かい、ランチバイキングを堪能し、JRに乗り換えて、いざ札幌へ。多くの人や高い建物に圧倒されながらも友達のことを待ったり、「お待たせ」と声を掛けたりして互いに気遣う子ども達の姿が大変立派でした。見学先のJRタワーでは、38階でエレベーターから降り、札幌の街を一望したときの「おー」と思わず出てしまった子ども達の歓声が印象的でした。

2日目はグループに分かれて活動を行いました。Aグループは旧北海道庁や時計台などの観光名所巡りや防災センターでの体験活動を行いました。Bグループは円山動物園の見学や青少年科学館での体験活動を行いました。グループ活動を終えて集合したときには、違うグループの友達へ自分の体験した出来事を伝え合う姿がありました。3日目は帰路となりましたが、JR改札への切符の入れ方や店員さんとの買い物でのやり取りなど旅行で学んだことを生かして行動していた姿には頼もしさを感じました。

見学旅行で経験したことや学んだことを、毎日の生活の中で生かし、自分の力とすることができるように今後も指導していきます。

文責：後藤



高等部 1・2年生

「宿泊研修の思い出」

9月29日(木)・30日(金)と1泊2日の日程で、旭川方面へ宿泊研修に行ってきました。生徒8名、教師8名、保護者2名の総勢18名で貸し切りバスに乗り、2日間、みんな笑顔いっぱいでした。初日は、まず、き花の杜でお菓子づくりを体験。各々クッキーの表面にチョコレートで模様を描き、残りのチョコレートをスプーンでぺろっ！とっても美味しい活動でした。その後、2グループに分かれ、ホテルでゆっくりと温泉につかりほっと一息ついたり、旭川駅やイオンを所狭しと見て回り、買い物をしたりゲームに熱中したりと楽しみました。また、路線バスに落ち着いて乗車し、自分で運賃の支払いを行うなど、これまでの経験を十分に発揮していました。ホテルでの夕食も楽しみの一つです。大勢で食卓を囲むのは、本当に御飯が美味しくて、みんなお腹いっぱい食べていましたよ。次の日の旭川美術館見学も普段ではなかなか触れることのできない日本の美術(浮世絵)を堪能。ラーメン村では、熱々の旭川ラーメンに舌鼓をうち、心も体も満腹になりました。2日間の短い日程でしたが、それぞれが多くを経験し、来年の修学旅行へ確実につながる旅行でした。

文責：小山内



高等部 3年生

「見学旅行の思い出」

10月11日(火)から3泊4日の日程で、東京方面へ見学旅行に行きました。初日は、全員が初めて経験する飛行機で不安そうな表情も見られましたが、事前学習の成果もあり、落ち着いて搭乗することができました。2・3日目は、班別での研修を行いました。1班は東京ディズニーランドや葛西臨海水族園等へ、2班は浅草寺や科学館等へ行きました。葛西臨海水族園の大きな水槽の中を回遊するサメやペンギンの様子を興味深く観察し、再びその場所に戻って見るほど気に入る様子が見られたり、科学館のスクリーンから流れてくる波形にタイミングを合わせてスイッチを踏むコンテンツを楽しく体験したりしました。

4日目は、初日の経験から、慣れた様子で飛行機内での時間を過ごすことができました。

東京という初めて訪れる場所においても、これまでの学習や経験で培ってきた力を発揮し、楽しい思い出を作って帰ってくることができました。今回の貴重な体験を残りの学校生活に生かしていきたいと思います。

文責：鈴木



2学期号 限定企画！【保護者アンケート】

～新しく赴任した先生にインタビュー～

PTA 広報誌「おおやま」恒例のアンケート企画。今年度は、先生アンケートです。

広報部の保護者が4月に赴任した先生の名前が書かれたくじを引いて、様々なアンケートに答えてもらう先生を決めました。当選したのは、高等部所属の『小川航先生』です。

他にも聞いてみたいことがあれば、PTA 懇親会などで質問してみてください♪

	Question (質問)	Answer (回答)
No.1	家族構成、兄弟などを教えてください。	・3人兄弟の末っ子
No.2	趣味は何ですか。	・スキーをすること ・スポーツ観戦
No.3	ストレス発散の方法はなんですか。	・旅行に行く。 ・ポテトチップスを食べる。
No.4	紋別、紋養の印象はどうですか。	紋別：親切で温かい人が多い。 紋養：保護者の方々との距離が近く感じられアットホーム
No.5	出身地はどこですか。 出身地の良いところはなんですか。	出身地：蘭越町 良い点：自然豊かで、米がおいしく温泉がたくさんあるところ。
No.6	紋別に来て驚いたこと or 面白いと思ったことを教えてください。	・海の幸がおいしくて安い！ ・坂道が多い。
No.7	今、ハマっていることはなんですか。	・オホーツク管内の美味しいもの巡り ・アイロン掛け
No.8	学校の先生になっていなかったら、どんな仕事をしていたと思いますか。	・実家の農業を継ぐ、またはカフェ営業
No.9	得意なことは何ですか。	・スキー ・農機具の操作



【編集後記】

最後までご覧いただきありがとうございます。今学期号も保護者の皆さまからのご協力があり、発行することが出来ました。PTA 活動の一つとして年間をとおして「意見箱」を児童生徒玄関に設置しています。児童生徒がよりよい学校生活を送れるように学校全体として取り組んでいくためにも今後もご協力をお願いいたします。なお、広報誌へのご意見は PTA 広報部までご連絡ください。

PTA 広報部 石川